

令和4年度事業報告書

令和4年度は、数年に及んだ新型コロナウイルス感染症も収束に向かい、感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用もなく、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え社会経済活動の回復に向けた動きが顕著になった。

このような状況下において、当協会では、昨年度に続き東京みなと祭をWEB配信方式で開催するなど一部の事業では規模の縮小や実施の見送りをせざるを得なかったものの、感染拡大防止対策を徹底し参加者や職員の安全確保を図りながら、船による東京港見学会や夜景観賞クルーズを開催した。

また、「東京港のつどい」を3年ぶりに対面方式で開催するなど、可能な限りコロナ禍以前と同様の事業内容による実施に努めた。

一方で、コロナ禍での実施方法の見直しにより得たノウハウを活かし、引き続き事業説明会をWEB配信により実施するなど、より効果的な事業実施に努めた。

また、収支の改善を図るため引き続き経費の削減に努めるとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

1. 港湾振興事業

(1) 東京港振興促進協議会

平成26年1月に策定された「第4次アクションプラン」の課題実現に向け、東京港の物流機能の強化や安全の確保・危機管理、環境に配慮したみなとづくり、みなとの賑わいの創出などへの取組みを進めた。

(2) 船舶貨物誘致活動の推進

国外でのポートセールス活動を実施するため、東京港振興使節団の派遣について検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の国内外での感染拡大の影響により使節団の派遣を見送った。

(3) 客船誘致活動の推進

① 入出港歓送迎行事等の実施

令和5年3月より外国客船の東京港寄港が再開し、東京港初入港となる「アマデア」、
「セブンシーズ・エクスプローラー」、「MSC ポエジア」をはじめ「アザマラ・ク
エスト」、「オイローパ2」、「シルバー・ウイスペー」、「にっぽん丸」、「ぱしふ
いっくびいなす」など国内外のクルーズ客船に対して延べ12回の入出港歓送迎行事を
行い、歓送迎演奏の実施や記念楯の贈呈などの活動を行った。

また、「全国クルーズ客船誘致受入連絡会」に参加し、今後の客船の動向など効果的

な受け入れのための情報収集を行った。

② 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

クルーズ客船の動向を調査するなど、各クルーズ客船社の新型コロナウイルス感染症への対応についての情報収集を行った。

(4) 荷主などとの懇談会の開催

荷主企業や船会社等に対して、東京港のメリットや取組み、最新情報などを提供し、東京港の利用促進を図るため、「東京港のつどい」を開催した。

令和4年度は3年ぶりに対面方式での実施とし、東京港セミナーでは東京都港湾局から東京港の取組みやカーボンニュートラルポート形成計画などの説明を行った。

東京港セミナー終了後、意見交換会を実施した。

開催日 令和5年2月7日

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

東京港セミナー

① 「東京港の取組」

講師 東京都港湾局港湾経営部長 野平 雄一郎 氏

② 「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画（案）について」

講師 東京都港湾局港湾振興担当部長 猪倉 雅生 氏

③ 「Cyber Portを利用した物流手段の効率化」

講師 国土交通省関東地方整備局港湾空港部港湾高度利用調整官
田尾 雄喜 氏

参加者 約90名

(5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施

① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

56航海、59団体、2,469名の乗船者に対して案内を実施した。

② 親子で行く！東京港高潮対策センター見学&運河クルーズ

東京都からの受託事業として、高潮や津波による水害から都民の生命・財産を守る高潮対策センターの見学と東京の魅力あふれる運河を水上タクシーなどで巡るクルーズの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施が見送られた。

③ 東京港夜景観賞クルーズ

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機会の少ない東京港の夜景を海上バスから観賞するクルーズを実施した。

実施日 令和4年11月25日

参加者 141名（応募倍率99.6倍）

(6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせなどの情報提供に努めた。

2. 情報提供等事業

(1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ③ 「東京港便覧」

(2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

① 会員向け東京港見学会・研修会

東京みなと丸や水上バスを利用し、船による東京港見学会を実施した。

実施にあたっては、乗船時の手指消毒、検温の実施や船内でのマスクの着用、募集人数を座席数の半数にするなど感染対策を徹底し、参加者や船員、案内従事者の安全の確保を図った。

実施日 4月12日、15日

12月2日、6日、8日、14日

参加者 204名

② 東京港夜景見学会

東京港の夜景を海上バスから観賞する見学会を実施した。

なお、臨海副都心の夜景についてもPRできることから、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会と合同で実施し、参加者の拡充を図った。

実施日 11月22日

参加者 117名

(3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

WEBによるビデオ配信として開催した。

<事業説明会>

① 「令和4年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長

山田 健太 氏

② 「令和4年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部部長代理（経理課長事務取扱） 卯月 秀実 氏

<講演会>

「東京港を巡る最近の話題」

東京都港湾局技監

山岡 達也 氏

配 信 期 間 事業説明会 4月18日～5月13日

講 演 会 6月10日～7月8日

総視聴回数 362回

(4) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

東京都からの受託事業として実施を予定していた港湾事業講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施が見送られた。

一方、東京都港湾整備振興大会については、東京港及び島しょ港湾の整備振興には国などに対する働きかけが必要不可欠であることから、会員に対し書面により提案し、大多数の賛同を得て採択された「東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文」をもって関係機関に対して要望活動を行った。

3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会の事務局として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の安全・健康を守るためオンラインにより第73回東京みなと祭を開催した。

東京港の歴史や役割を紹介するコーナーや過去の水の消防ページの様子などが見ることができる動画コーナー、東京港にまつわるクイズで理解を深めていただく「みなと検定」のほか、特別ゲストに小島よしおさんを迎え東京港の役割や施設の魅力を学ぶ「東京港の社会科見学オンラインツアー」を期間限定で公開するなど様々なコンテンツを展開した。

また、東京港PRイベントとして、視察船のほかレストランシップや水上バス、水上タクシーなどの体験乗船会を開催した。

なお、東京港港湾功労者表彰式については中止としたが、東京港港湾功労者表彰は5月20日付で行われており、港湾功労者12名に都知事感謝状と記念品を贈呈した。

また、東京港開港記念祝賀会については当協会が事務局を務める東京港開港記念祝賀会実行委員会において中止を決定した。

開 催 期 間 4月15日～6月30日

ページビュー数 41,402PV

4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

(1) 初入港船等の歓送迎

初入港船、外国客船、国内クルーズ客船、コンテナ船などに歓送迎演奏や記念楯の贈呈などの歓送迎行事を22回実施した。

また、外国客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、東京国際クルーズターミナル内にて観光ボランティアを活用したインフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

(2) 視察船による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船による東京港案内を実施し、東京港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかかわりなどの理解を図った。

運航にあたって必要な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じたことにより、コロナ禍以前に近い航海回数となった。

280航海、4,638名に対して案内を実施した。

5. 東京臨海部広報展示室事業

来室者への展示案内に積極的に取組むとともに、集客を図るため、次のとおり特別企画展を実施した。

運営にあたっては、来室者及びスタッフの手指消毒の励行や検温の実施、展示室内のこまめな消毒作業の実施など感染防止対策を徹底し、来室者やスタッフの安全の確保に努めた。

○ 晴海客船ターミナル写真展

令和4年2月20日に閉鎖された晴海客船ターミナルのこれまでを、クルーズ客船の歓送迎セレモニーや東京みなと祭での賑わい、建設途中の様子などの写真パネルとスライド映像で紹介

開催期間 令和4年3月25日～6月5日

○ 東京2020オリンピック・パラリンピック アーカイブ展

東京2020オリンピック・パラリンピックのそれぞれの聖火リレートーチや東京臨海部で行われた車いすテニスやビーチバレーボールなどの競技で使用されたボールなどの競技用具を展示

開催期間 令和4年6月7日～7月24日

○ ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展

全国の小学生・中学生・高校生を対象に、海事産業の重要性を理解してもらうことを目的として開催されている「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の2021年度の入賞作品展

開催期間 令和4年7月26日～9月25日

○ 海上公園フォトコンテスト受賞作品展

東京港埠頭株式会社様のご協力をいただき、同社が主催のお台場エリア周辺の海上公園を対象公園としたフォトコンテストの最優秀賞などの受賞作品展と海上公園の魅力を紹介するパネル展

開催期間 令和4年7月26日～9月25日

○ 工事の見える化展

東京港で日々行われている様々な工事の中から、浚渫工事や水深の測量調査、新海面処分場の整備、東京港長期構想、旧晴海鉄道橋の遊歩道化などについて、パネルや模型、映像により「見える化」して紹介

開催期間 令和4年9月27日～令和4年11月27日

○ 東京2020オリンピック・パラリンピック アーカイブ展

東京2020オリンピック・パラリンピックのそれぞれの聖火リレートーチや東京臨海部で行われた車いすテニスやビーチバレーボールなどの競技で使用されたボールなどの競技用具を展示

開催期間 令和4年11月29日～令和5年1月29日

○ 工事の見える化展

東京港で日々行われている様々な工事の中から、浚渫工事や水深の測量調査、新海面処分場の整備、東京港長期構想、旧晴海鉄道橋の遊歩道化などについて、パネルや模型、映像により「見える化」して紹介

開催期間 令和5年1月31日～令和5年3月26日

令和4年度の入室者数は15,679名であった。

また、令和4年10月28日には、開室からの累計来室者数が10万人に達した。

6. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」などの東京港関係資料の販売を行った。

7. 会員の異動状況

(1) 新規入会申し込み会員

入会年月日	級別	会員名	代表者 役職氏名	所在地	主な業務内容
5.5.18	1級	株式会社 旭高速印刷	代表取締役 久川 哲範	千代田区神田小川町 3-1-1 E-Frontビル5F	広告事業、WEB事業
5.5.18	3級	株式会社 青木組 東京本店	取締役本店長 坂倉 安浩	中央区日本橋茅場町 3-4-2	浚渫工事業、土木工事業、とび・土木工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

法人 2社

(2) 退会会員

法人 3社

(3) 会員数

301社（令和5年6月1日現在）